

こぶしの里・悠久の里 だより

社会福祉法人 楽久園会
グループホーム こぶしの里
小規模多機能ホーム 悠久の里
〒677-0113
兵庫県多可郡多可町八千代区徳田 111-60
TEL 0795-37-2250 / FAX 0795-37-2161
URL <http://www.rakuenkai.or.jp>
E-mail info@rakuenkai.or.jp

【こぶしの里・悠久の里だより】
No.001
発行人/ 社会福祉法人楽久園会
施設長 上野 侃
発行日/ 2011年3月10日

悠久の里の 新しい介護士さん

「皆さんのようになりたい」

悠久の里 介護士 大西京子

2月より悠久の里で働かせていただいています。以前は、同じ施設内にある特養ゆりの荘で働いていました。そこには、寝たきりの方や車椅子で生活されている方が多く、食事や排泄、入浴介助といった自分で出来ないこと、出来ないことを



こぶしの里 二月生まれ三美人



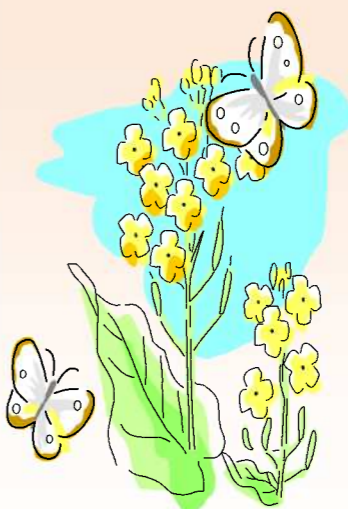
こぶしの里は、入居者9名の女性ばかりの小さな施設ですが、なんと2月生まれの方が3人もおられます。

先日、2月22日に2月生まれの方の誕生会を開き、上野施設長のお祝いの言葉、プレゼントの贈呈、手作りのケーキなどでお祝いしました。

3人の中で、一番年長のHさんは、今年94歳になられますが、関東の生まれで「私は、まがったことが大嫌い。」としやしきと答えます。腰は曲がっておられますが、写真撮影のときは背筋をしゃんと伸ばされて記念写真を撮られました。

手伝うのが主な仕事でした。自分も年をとると「そうなるだろう」と思っていました。ところが、悠久の里で、とても元気で生き生きとされているお年寄りの方々に出会い驚いています。「どうしてこんなに元気なんだろう？私も皆さんのようになりたい。」と思いながら、日々関わらせていただいています。

「介護という仕事をもっと勉強し、利用者の方々が安心して生活でき、笑顔で過ごしていただけるよう努めたいと思います。」



こぶしの里・悠久の里運営推進 会議の報告

こぶしの里・悠久の里運営推進会議では、おおよそ2ヶ月に1回程度、それぞれの事業所の活動状況を報告し、その内容について運営推進会議の委員さんから評価、要望、助言を受け、今後の活動に活かすことを目的として設置されています。

運営推進会議の委員さんは、利用者、利用者の家族、地域住民の代表者、地域包括支援センターの職員、認知症ケアに知見を有する者等から構成されており、現在7名の委員さんで運営しています。今年度の会議の概要を報告します。

次に年長で今年満89歳になれるKさんは、こぶしの里の開設当初から入居しておられ、こぶしの里で10回目の誕生日を迎えられました。若い頃は、食べられなくなると、病院に入院されたこともあったそうですが、今はすこお元気で、こぶしの里で、二を争う健脚の持ち主です。

3人の中では、一番年少のMさんは、今年満73歳になられます。いつも姿勢がよく、背筋をびんと伸ばして歩かれます。また、Mさんは、こぶしの里で一番の働き者で、朝から食後の片付け、洗濯物干し、掃除と積極的に仕事を手伝って頂いています。「私にできることがあれば、何でも言ってください。」とにこやかにおっしゃってください。

こぶしの里では、誕生月には、ささやかなお祝いをし、昼食も赤飯、刺身、茶碗蒸しなどいつもよりはちよっとだけご馳走を用意します。誕生月がばらけると、ご馳走の回数も多いのですが、こればかりはうまくいかないのは、世の常でしょう。これからは元気で、また来年も一緒に誕生日を祝いたいとお互いにおっしゃっておられました。



●第1回運営推進会議（平成22年5月31日開催）
会長に門脇国明氏、副会長に門脇きみ子氏が選任される。

こぶしの里の「家族の手紙」は日頃の様子がよくわかってありがたいとの評価があった。

●第2回運営推進会議（平成22年7月29日開催）
避難訓練について質問があり、地元の消防団との合同訓練など、年3回程度避難訓練を行っていますと答える。

●第3回運営推進会議（平成22年9月30日開催）
音楽療法を専門の先生にいただいたありがたいとの評価があった。

●第4回運営推進会議（平成22年11月30日開催）
子育てふれあいセンターとの交流は、利用者の方も喜ばれており、続けてほしいとの要望があった。

●第5回運営推進会議（平成23年2月17日開催）
多可グループホーム連絡会の発足に向けて行政の方で呼びかけを行いますとの助言があった。

●第6回運営推進会議は、平成23年3月下旬開催予定です。

編集後記

3月に入っても、まだまだ寒い日もあります。少しずつ春の足音が感じられるようになりました。「こぶしの里・悠久の里だより」第1号を発行いたしました。今後、職員の異動など随時、発行したいと思っています。ご意見、ご感想などありましたら、ぜひお寄せください。

「ひな祭りの祝い」

3月3日のひな祭りは過ぎましたが、こぶしの里では、旧の4月3日までひな人形を飾っています。

昔からひな人形は飾ったようですが、今のよう豪華な何段飾りやケース入りのひな人形ではなかったとのことで、大切にしていたけど、虫に食われてお嫁に行くときは持って行けなかったという人が多かったようです。

利用者の皆さんにひな祭りの思い出を聞きますと、「三色の菱形のもちやお菓子を子供に食べて、甘酒でお祝いしました。」と、今より風情のある行事だったんだと感じます。

ひな人形は、しまい忘れると、縁遠くなると言われますので、「忘れないように早く片付けてよ」と皆さん、おっしゃられます。もしも、まだお嫁に行こうと思っておられるのかもしれない。

